

地域で門松づくり

何は
 な、
 なる
 並へる。

んどん上達して、なたの扱いも怖くなくなり、上手に割れるようになっていました。
 また、縄を男結びにしたり、さまざまな種類の植物を使ったり飾りつけをしたりしながら、ふだん学校やお店などを目にしている門松が、こんなに手間暇かけて作られていたことが分かってびっくりしました。



地域の皆さんの指導を受けながら門松づくりに取り組みました

仲間たちと協力し、一つのものを作り上げることの楽しさややりがいを感じました。私たちは門松づくりからさまざまなことを学び、得ることができました。これからは、私たちが地域のためにできることを考えて、少しでも地域の方々へ恩返しができるようにしていきたいです。

割った竹をバランスよく組み合わせた、縄を巻いたり結んだりするのに、苦労しましたが、地域やPTAの方々、生徒会の仲間たちのおかげでなんとか作り上げることができました。

今回の門松づくりの経験を通して、昔からの伝統文化に触れることの大切さや大切な

この企画は、南日本新聞社の広告主でつくる南日本広友会の社会事業です。
子どもたちが発見し、取材・撮影した「地域の宝」を紹介します。

制作：南日本新聞社營業局

教育に
新聞を

未来へ向けて心つなぐ

校美術館」が開館しました。授業や部活動で生徒が制作した絵画、造形作品などを1階から3階までの階段壁面に展示してあります。

美術部は本年度、第84回全国教育美術展で内閣総理大臣賞に輝きました。その美術部の作品



はもうろっ、生徒一人ひとりの個性を感じられる作品が並んでいきます。生徒同士の交流にとどまらず、地域の方々と交流のきっかけにもなっています。

また、総合的な学習の時間の「ふるさと・コミュニケーション科」では、鹿児島県や薩摩川内市の魅力を探求したことを発表し、ふるさとの歴史や文化、産業について学んでいます。

これからも、川内南中学校美術館や学習発表会などの行事および「ふるさと・コミュニケーション科」の授業を通して、学校と地域が団結し、ふるさとを守り、発展させていきます。



わたしたちが取材しました

2年 木原綺音、平紗彩、花吉奏穂、中村夏葵、大庭凜愛▽指導 新田由美子教諭、介川亜紀教諭
今回、テーマを何にするか悩みま

した。「川内南中学校美術館」をはじめ、地域ボランティア活動、生徒会の街頭募金活動など題材を収集する中で、どの活動もPTAや地域の方々との連携と協力でなりたっていることを実感しました。

門松づくりも、できるだけ生徒たちだけで作れるように見守ってくださいました。日本の伝統文化である門松ですが、家庭ではあまり作られなくなり、私たちもほとんどが初めての体験でした。学校の伝統行事としても、日本の文化伝承としても意義のある活動だったと思います。

これからも、学校のみならず、地域や社会に貢献できるような生徒会活動を続けていきたいです。

[illegible]